

OLYMPUS®

ボイストレック
DS-650

取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使い下さい。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管して下さい。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

安全に正しくお使いいただくために

この度はオリンパスボイストレックDS-650をお買い上げいただきありがとうございます。お読みください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになって、正しく安全にお使いください。

また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。



この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。



この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠警告

このボイストレック用に指定されてない電池を使わないでください。

充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。

古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池を使わないでください。

電池の極性(⊕と⊖)を逆に入れしないでください。

電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

- 表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない時は、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかにボイストレックから取り出してください。液漏れの恐れがあります。

⚠警告

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠警告

万一、使用中に異常な音ができる、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

- 1 火傷に注意しながら速やかに電池を抜いてください。
- 2 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

AC アダプタについて

⚠警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。



⚠警告

内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。



⚠警告

引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。



⚠警告

プラグ先端の⊕、⊖をショートさせないでください。
火災や火傷、感電の原因となります。



⚠警告

落下や損傷により内部が露出したら、

1 露出した内部に絶対触れないでください。

感電、火傷、ケガの恐れがあります。

2 感電、火傷、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

3 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。



⚠警告

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。



⚠警告

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、



- 1 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠注意

濡らしたり、濡れた手で触らないでください。

感電の原因となります。



⚠注意

表示の電源電圧以外で使用しないでください。

電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。

電源プラグのコンセントへの差込が不完全なまま使用しないでください。

電源コードを傷つけないでください。

- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。
火災や感電の原因となります。

使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



本機について

⚠警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。



⚠警告

操作前から、音量（ボリューム）を上げないでください。



聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。



⚠警告

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。



幼児、子供の近くで使用する時は細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。

例えば

- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

⚠警告

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、



- 1 速やかに電池および AC アダプタを抜いてください。
- 2 お買い上げ店およびオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠警告

航空機内や病院などで使用を禁止された場所では使用しないでください。



電子機器や医療用電気機器に影響をおよぼす場合があります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示にしたがってください。

目次

商品の概要

主な特徴	8	使用上のご注意	9
------------	---	---------------	---

録音前の準備

各部の名称	10	ACアダプタを使用する場合	13
電池の入れかた	12	ホールドについて	14
電池の交換について	13	日付・時刻の設定のしかた	14

基本的な使いかた

録音のしかた	16	消去のしかた	21
再生のしかたと音量調節	18		

その他の機能

音声起動録音 (VCVA) のしかた	23	録音モード (R-TIME) について	27
インデックスマークについて	24	マイク感度 (M-SENS) について	28
メッセージの移動 (MOVE) について	25	口述モードについて	29
アラーム (ALARM) について	26	パソコンへのデータ転送について	30

その他

リセットについて	31	故障かな?と思ったら	34
フォーマット (初期化) について	32	主な仕様	35
メニューの一覧	33	アクセサリ (別売)	36

主な特徴

本商品は以下のような特徴を備えております。

本商品は音声デジタルデータに変換し、高能率圧縮した後にフラッシュメモリに記録する、デジタル音声レコーダーです。

2種類の録音時間が選択可能です。標準的なSPモードで約5時間*、長時間録音可能なLPモードで約10時間50分*の連続録音が可能です。

2種類のフォルダー（最大99件のメッセージ / 1フォルダー）が用意されており、自由な使い分けが可能です。

音声起動録音機能（VCVA）によりメモリの節約が可能です。

一部ドットマトリクス表示を採用したディスプレイにはメッセージ番号、リアルタイムカウンター、録音可能時間、現在日時、動作モード、各種警告等がわかりやすく表示されます。

USB接続キット AS-200W（別売）を使うと録音したメッセージをパソコンに転送することができます。さらにIBM社の音声認識ソフト「ViaVoice ミレニアム」（別売）またはジャストシステム社の「Voice 一太郎 10 e-Talk」（別売）をお使いになると、パソコンへ転送したメッセージを、高い変換効率で音声認識**させることが可能です。

* 1つのメッセージを連続で録音した場合の録音可能時間。小刻みに録音を繰り返した場合、録音可能時間がこれよりも短くなる場合があります。（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください。）

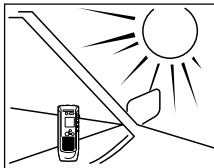
**メッセージを録音する場合は、音声認識ソフトに音声登録した1人の人が、SP（標準録音）モードで、比較的静かな環境で一定した話しかたで録音する必要があります。

下記のような状況で録音したメッセージは文字変換には不向きで認識率が著しく低く、音声認識にはおしいいただけません。

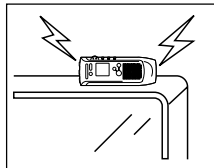
- 複数の人の声が録音される、会議や座談会など。
- まわりの雑音が録音されやすい、講演会や講義など。

使用上のご注意

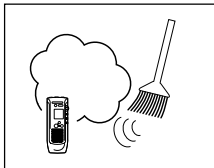
直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。



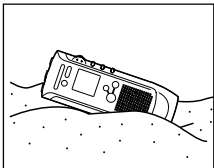
テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないください。



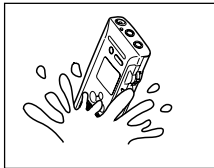
湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。



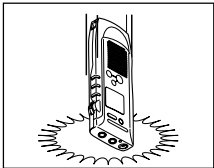
砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。



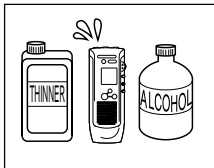
水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。



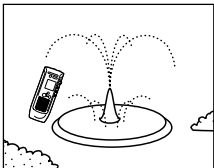
強い振動やショックを与えないください。



清掃する時、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。



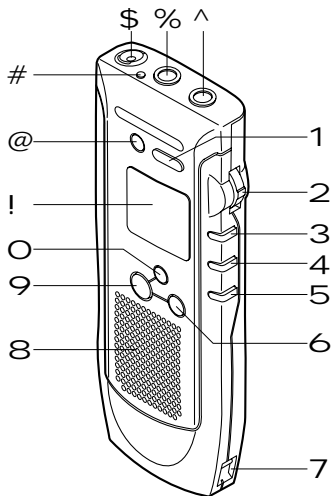
水気の多い場所で使用しないでください。



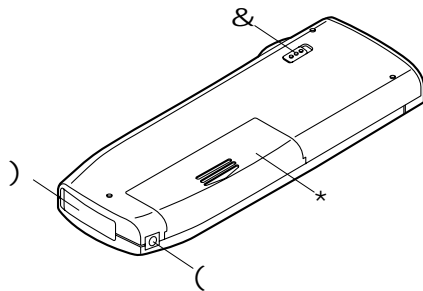
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置が

ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名称

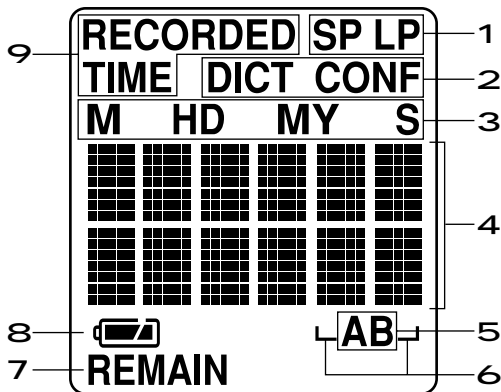


- 1 口述モードボタン
- 2 メニュー / 音量レバー
- 3 再生ボタン
- 4 早戻しボタン
- 5 早送りボタン
- 6 停止ボタン
- 7 ストラップ取り付け部
- 8 内蔵スピーカー
- 9 録音ボタン
- インデックス / フォルダーボタン



- ! ディスプレイ (液晶表示)
- @ 消去ボタン
- # 録音表示ランプ
- \$ 内蔵マイクロホン
- % イヤホンジャック
- ^ マイクホンジャック
- & ホールドスイッチ
- * 電池ふた
- (電源ジャック
-) データ転送用コネクタ部

ディスプレイ（液晶表示）について



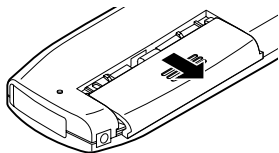
- 1 録音モード
- 2 マイク感度
- 3 月・日・年 (M.D.Y)・時・分・秒 (H.M.S)
- 4 経過時間表示、録音可能時間表示、録音日時表示、メニュー表示など
- 5 フォルダー
- 6 メッセージ番号表示範囲マーク
- 7 録音可能時間マーク
- 8 電池残量表示
- 9 録音日時マーク

スタンバイモードとディスプレイの消灯について

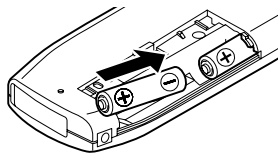
停止または録音・再生一時停止状態が30分間続くと、スタンバイモード（節電状態）になりディスプレイが消灯します。この状態で、停止、録音、再生、早送り、早戻しのいずれかのボタンまたはメニュー/音量レバーを押すと、スタンバイモードが解除され、ディスプレイが表示されます。

停止状態でホールドスイッチをホールド側に行くと、スタンバイモード（節電状態）になり、ディスプレイが消灯します。

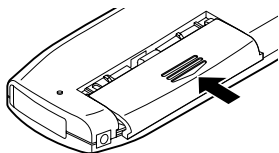
電池の入れかた



1 電池ぶたをスライドさせて開ける

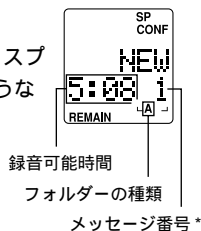


2 単4乾電池(2本)の⊕と⊖を正しい向きで入れる



3 電池ぶたを完全に閉める

現在設定されている日付・時刻が、ディスプレイに1秒間表示されたあと、右のような表示になります。




*「NEW」とともに表示されるメッセージ番号は、表示されているフォルダーに録音されているメッセージの数よりも1つ大きな数字が表示されます。

ご注意

電池ぶたが完全に閉まっていないと、ディスプレイに「OPEN」と表示されて動作しません。

OPEN

電池の交換について

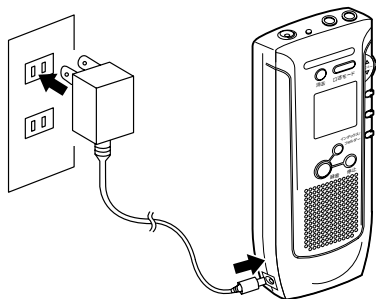
ディスプレイに [] が点滅し始めたら、本機を停止状態にして、なるべく早く2本とも新しい電池に交換してください。

ディスプレイに [BATT] と [] が点灯した時は動作が停止し、操作ができなくなりま

す。すぐに2本とも新しい電池に交換してください。






電池の交換後、本機が正常に動作しない場合は31ページの「リセットについて」をご覧ください。

ACアダプタを使用する場合

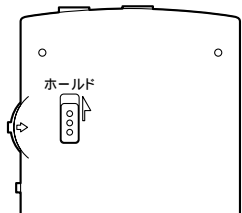


図のようにACアダプタA324（別売）を家庭用電源のコンセントに差し込み、プラグを本機の電源ジャック（DC3V）に接続します。ACアダプタのプラグは、必ず本機を停止状態にしてから差し込んでください。電池で録音中にACアダプタのプラグを差し込むと、録音中の内容が再生できなくなる恐れがあります。

⚠警告

- 極性の違うものや出力電圧が3V以外のACアダプタは、絶対に使用しないでください。 
- ACアダプタA324は日本国内専用です。外国では使用しないでください。 
- ACアダプタは誤った使い方をすると破損したり、火災や感電の原因になりますので、必ず専用のACアダプタA324を使用してください。 
- ACアダプタは、本機を停止状態にしてから取り外してください。 
- ACアダプタをお使いになったあとは必ずコンセントから抜いてください。 

ホールドについて



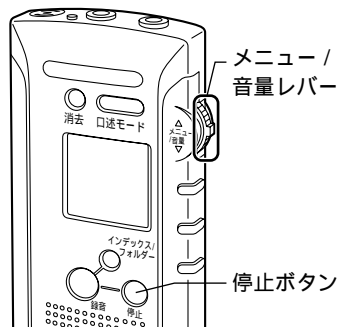
ホールドスイッチをホールド側になると、その状態を保持して、他のスイッチやボタンを押しても本機は動作しません。停止状態でホールドスイッチをホールド側になると、かばんやポケットに入れたとき、誤ってスイッチやボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。
使用するときには必ずホールドスイッチを解除してください。

ご注意

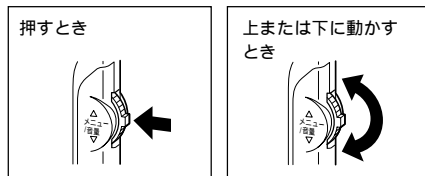
- 停止状態でホールドスイッチをホールド側になるとディスプレイが消灯し、スタンバイモードになります。
- 再生状態でホールドスイッチをホールド側になると、再生中のメッセージが再生し終わった時点でディスプレイが消灯し、スタンバイモードになります。
- 録音状態でホールドスイッチをホールド側になると、録音可能時間がゼロになった時点で録音を終了し、ディスプレイが消灯してスタンバイモードになります。

日付・時刻の設定のしかた

日付・時刻を設定しておく、各メッセージの録音を終了したときの日付と時刻が自動的に記録されます。メッセージの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。
本機が停止状態のときに、次の手順にしたがって年、月、日、時、分の設定をしてください。



メニュー / 音量レバーの操作のしかた



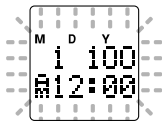
ご注意

- 初めて電池を入れたときは初期状態(2000年1月1日午前12時)から時計が動き始めます。
- 日付・時刻の設定をしない場合は、メッセージの録音をしたときに正しい日付・時刻が記録されません。

- 1 メニュー/音量レバー
を押す
ディスプレイにメニュー
が表示されます。



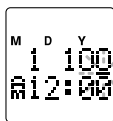
- 2 メニュー/音量レバー
を上動かして日付・
時刻が点滅している画
面を選ぶ



- 3 メニュー/音量レバー
を押す
「年」のカーソルが点滅し
ます。



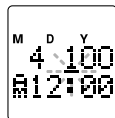
- 4 メニュー/音量レバーを
上または下に動かして
「年」の数字を合わせる
月、日、時、分の数字を合
わせる時も同様にします。



- 5 メニュー/音量レバー
を押す
「月」のカーソルが点滅し
ます。



- 6 「月」を合わせてメ
ニュー/音量レバーを
押す
「日」のカーソルが点滅し
ます。



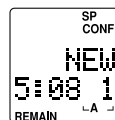
- 7 「日」を合わせてメ
ニュー/音量レバーを
押す
「時」のカーソルが点滅し
ます。



- 8 「時」を合わせてメ
ニュー/音量レバーを
押す
「分」のカーソルが点滅し
ます。



- 9 「分」を合わせて停止
タンを押す
日付・時刻の設定が完了し
ます。

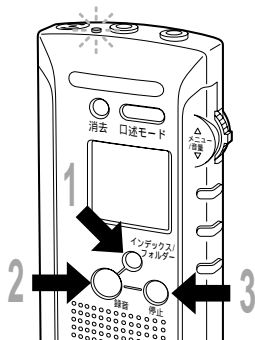


ご注意

設定中に3分間何も操作しない場合は、それまでの設定がキャンセルされます。

録音のしかた

A、Bの各フォルダーにそれぞれ最大99件のメッセージを録音することができます。



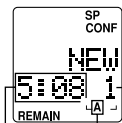
1 インデックス/フォルダーボタン
を押して録音したいフォルダーを選ぶ
押すたびにAとBが切り替わります。

2 録音ボタンを押す
録音を開始し、ディスプレイに2秒間
「REC」と表示されます。また、録音表
示ランプが点灯します。

ディスプレイに録音経過時間が時、分、秒で表
示されます(リアルタイムカウンター表示)。

3 録音を止めたいところで停止ボタン
を押す

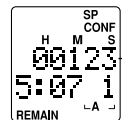
録音を終了し、ディスプレイに「NEW」と
表示され、メッセージ番号が1つ繰り上が
ります。



録音可能時間

フォルダーの種類

メッセージ番号*



録音経過時間
(リアルタイム
カウンター)

* ディスプレイに「NEW」と表示されている場合のメッセージ番号
は、これから録音されるメッセージの番号です。

録音を一時停止するには

一時停止する

録音ボタンを押します。

➡ ディスプレイの録音経過時間表示と録音表示ランプが点
滅します。

録音を再開する

録音ボタンをもう一度押します。

➡ 同じメッセージ番号に続けて録音されます。

ご注意

録音一時停止状態で停止ボタンを押すと録音を終了し、ディスプレイに「NEW」と表示され、メッセージ番号が1つ繰り上がります。

録音に関する設定

特別な設定をしなくても標準的な状態で録音できるように設定されていますが、長時間録音できるLPモードや口述録音に適したDICTモード、メモリの節約ができる音声起動録音機能などが設定できます。詳しくは下記のページを参照してください。

録音モード： SP (標準録音) モード /

LP (長時間録音) モード

P.27

マイク感度： CONF (会議録音用) /

DICT (口述録音用) P.28

音声起動録音： OFF/ON P.23

(VCVA)

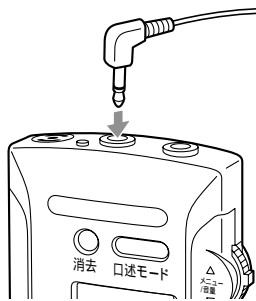
ご注意

- 録音したメッセージを再生して途中で中止した場合など、ディスプレイに「NEW」が表示されていない場合でも、本機が停止状態になっていれば、録音ボタンを押すことにより新しいメッセージの録音ができます。
- ディスプレイに「FULL」と表示されたときは、追加録音はできません。不要なメッセージを消去してから録音をしてください。またUSB接続キット(別売)を使用すると、メッセージ(音声データ)をパソコンに転送して保存しておくことができます。その場合は保存しておきたいメッセージをパソコンに転送したあとに、本機のメッセージを消去してください。(消去のしかた P.21)

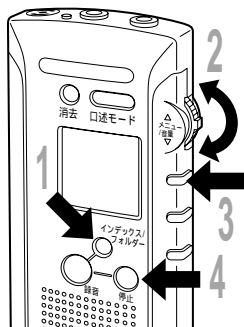
- 録音中はACアダプタを抜き差ししないでください。録音中のメッセージがあとで再生できなくなる場合があります。
- 会議や講演会などを録音する場合は、「会議や講演会などの録音について」(P.28)をご覧ください。
- パソコンに転送して音声認識ソフト(別売)により文字に変換するためのメッセージを録音する場合は、「音声認識に使うためのメッセージについて」(P.30)をご覧ください。
- 録音一時停止状態で30分続くとディスプレイが消灯します(スタンバイモード)。(録音、停止、再生、早送り、早戻しのいずれかのボタンまたはメニュー/音量レバーを押すとディスプレイが再表示され、録音一時停止状態に戻ります。)

録音中の音を聞くとき(録音モニター)

イヤホンにイヤホンジャックに差し込むと録音中の音声を聞くことができます。この場合、音量を変えて聞くことはできません。



再生のしかたと音量調節



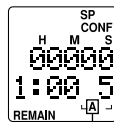
1 インデックス/フォルダーボタンを押して再生したいメッセージが入っているフォルダーを選ぶ

2 メニュー/音量レバーを上または下に動かして再生したいメッセージ番号を選ぶ

3 再生ボタンを押す
再生を開始します。

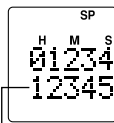
ディスプレイに再生経過時間が時、分、秒で表示されます(リアルタイムカウンター表示)。またその下に再生中のメッセージの長さが時、分、秒で表示されます。

4 再生を止めたいところで**停止ボタン**を押す
再生を終了します。



フォルダーの種類

メッセージ番号



再生中のメッセージの長さ

再生経過時間
(リアルタイム
カウンター)

ご注意

- 各メッセージの先頭ではそのメッセージの録音が終了した日時が2秒間ディスプレイに表示されます。
- イヤホンジャックにイヤホンを接続すると、イヤホンから再生音を聞くことができます。このとき内蔵スピーカーから音が出なくなります。
- ひとつのメッセージが再生し終わると自動的に停止します。

音量を調節するには

再生中にメニュー/音量レバーを上または下に動かす

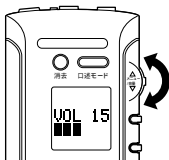
レバーを1回動かすと現在の音量設定値(0~30)がディスプレイに表示されます。

メニュー/音量レバーを上にかかす

ディスプレイの数字が大きくなり、音量も大きくなります。

メニュー/音量レバーを下にかかす

ディスプレイの数字が小さくなり、音量も小さくなります。



ご注意

4秒間レバーを操作しないとディスプレイは再生状態の表示に戻ります。

⚠注意

イヤホンでお聞きになるときは、音量をあまり上げないでください。

聴覚障害や聴力低下を引き起こす恐れがあります。



再生を一時停止するには

一時停止する

再生ボタンを押します。

➡ ディスプレイの再生経過時間表示が点滅します。

再生を再開する

再生ボタンをもう一度押します。

➡ 再生を止めたところから再生を開始します。

ご注意

- 再生一時停止状態で停止ボタンを押すと、停止状態になります。
- 再生一時停止状態が30分続くとディスプレイが消灯します(スタンバイモード)
(録音、停止、再生、早送り、早戻し、のいずれかのボタンまたはメニュー/音量レバーを押すと、ディスプレイが再表示され、再生一時停止状態に戻ります。)

その他の操作

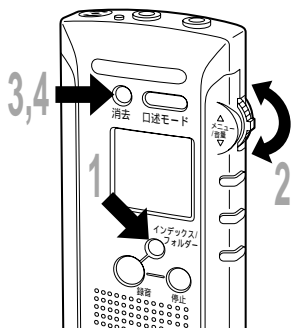
	操作	解除するには
早聞き再生 (FPLY)	再生中に再生ボタンを 1秒以上押す	もう一度再生ボタンを1秒以上押す → その位置から通常の再生を続けます。
早送り (FF)	停止中に早送りボタン を押す	停止ボタンを押す → その位置で停止します。 (停止ボタンを押さないと、メッセージの終わりまで送られて自動的に止まります。)
早戻し (REW)	停止中に早戻しボタン を押す	停止ボタンを押す → その位置で停止します。 (停止ボタンを押さないと、メッセージの先頭まで戻って自動的に止まります。)
キュー (CUE) (再生音を聞きながら 早送り)	再生中に早送りボタン を押し続ける	早送りボタンから手をはなす → その位置から通常の再生を続けます。 (早送りボタンから手をはなさないと、メッセージの終わりまで送られて自動的に止まります。)
レビュー (REV) (再生音を聞きながら 早戻し)	再生中に早戻しボタン を押し続ける	早戻しボタンから手をはなす → その位置から通常の再生を続けます。 (早戻しボタンから手をはなさないと、メッセージの先頭まで戻って再生し始めます。)

- 早聞き再生中は約 1.5 倍速で再生されます。
- 早送り中にもう一度早送りボタンを押すと、次のメッセージの先頭で停止します (F-SKIP)。
- 早戻し中にもう一度早戻しボタンを押すと、そのメッセージの先頭で停止します (B-SKIP)。
- ()内のアルファベットはディスプレイに表示されるモード表示です。「FPLY」はモードが切り替わったときに 1 秒間表示されます。

消去のしかた

消去のしかたには1つのメッセージを消去する方法と、フォルダー内のすべてのメッセージを一括して消去する方法の2種類があります。

1つのメッセージを消去する場合



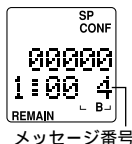
1 インデックス/フォルダーボタンを押して消去したいメッセージが入っているフォルダーを選ぶ

2 メニュー/音量レバーを上または下に動かして消去したいメッセージ番号を選ぶ

3 消去ボタンを1秒以上押す
メッセージ番号が点滅します。

4 もう一度消去ボタンを押す
「ERASE」が点滅したあと「OK」が表示され、消去を完了します。

消去したメッセージ以降のメッセージ番号は自動的に繰り上がり、消去したメッセージとほぼ同じ録音時間分だけ、録音可能時間が増えます。

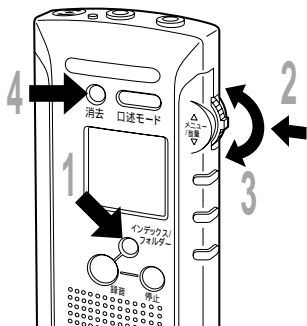


基本的な使いかた

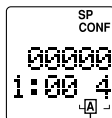
ご注意

- ・手順3のあと、4秒以内に消去ボタンを押さなかったり停止ボタンを押した場合は、メッセージの消去をキャンセルして手順2の画面に戻ります。
- ・メッセージ消去後の録音可能時間は、録音モード(R-TIME)の設定により異なります。

フォルダー内の全メッセージを消去する場合



1 インデックス/フォルダーボタンを押して消去したいメッセージが入っているフォルダーを選ぶ



フォルダーの種類

2 メニュー/音量レバーを押す

3 メニュー/音量レバーを上動かして「ERASE ALL」を選ぶ
「ALL」とフォルダーが点滅します。

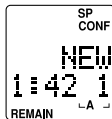


4 消去ボタンを1秒以上押す

「ERASE」が点滅したあと「OK」が表示され、消去を完了します。



消去したフォルダーの初期画面に戻り、消去した全メッセージとほぼ同じ録音時間分だけ、録音可能時間が増えます。



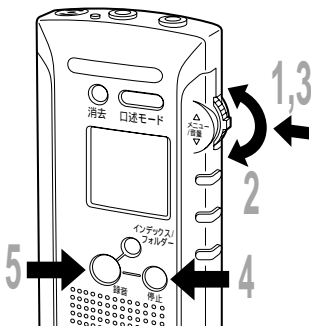
ご注意

- 手順3のあと、3分以内に消去ボタンを押さなかったり停止ボタンを押した場合は、メッセージの消去をキャンセルして手順1の画面に戻ります。
- 消去したメッセージ群の中にSPモードで録音したメッセージとLPモードで録音したメッセージが混在した場合は、消去したメッセージの録音時間の合計と、消去したあとの録音可能時間の増加分は一致しません。

音声起動録音（VCVA）のしかた

会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

* 話し手の声の大きさやまわりの雑音の大きさなど、録音状況に応じてVCVAの起動感度を調節することができます。失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で起動感度を調節することをおすすめします。



- 1 メニュー/音量レバーを押す
- 2 メニュー/音量レバーを下に動かして「VCVA」を選ぶ
- 3 メニュー/音量レバーを押して「ON」を選ぶ
- 4 停止ボタンを押す
音声起動録音の設定を完了します。
- 5 録音ボタンを押す
録音を開始します。

VCVA
ON

- ・設定した起動感度よりも大きな音声を感じると、自動的に録音が始まり、音声の小さい状態が3秒以上続くと、自動的に録音を一時停止し、待機状態になります。
- ・録音中は録音表示ランプが点灯し、待機中は録音表示ランプとディスプレイの「VCVA」が点滅します。
- ・録音中や録音待機中でも、停止ボタンを押すと録音を終了します。

VCVAの起動感度レベルを調節するには録音中にメニュー/音量レバーを上または下に動かして起動感度(レベル1～30)を調節します。レベルが上がるにつれて、小さな音でも録音が始まるようになります。

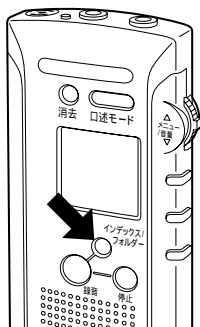
ご注意

起動感度レベルは設定されているマイク感度によっても異なります。マイク感度については28ページをご覧ください。



インデックスマークについて

録音中にインデックスマークを記録しておく、再生中にその部分をすばやく探すことができます。



録音中または録音一時停止中に**インデックス/フォルダー**ボタンを押す

ディスプレイに「INDX」と記録したインデックス番号が表示され、録音表示ランプが点滅します。

インデックスマークを記録したメッセージを再生すると、記録されているところでディスプレイに「INDX」とインデックス番号が表示されます。

ご注意

- 録音表示ランプが点滅している間は次のインデックスマークの記録はできません。
- インデックスマークは1つのメッセージに最大16個まで記録できます。

インデックスマークの探しかた

再生中にインデックス/フォルダーボタンを押す

直ちに同じメッセージ内にある次のインデックスマークの位置から再生を続けます。

早送り中にインデックス/フォルダーボタンを押す

直ちに同じメッセージ内にある次のインデックスマークの位置で停止します。

早戻し中にインデックス/フォルダーボタンを押す

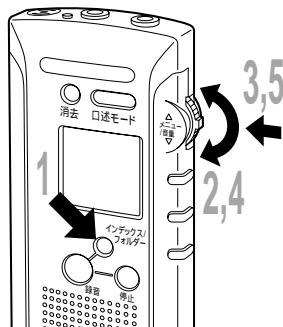
直ちに同じメッセージ内の直前のインデックスマークの位置で停止します。

ご注意

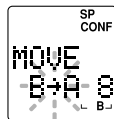
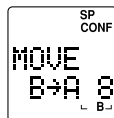
- 再生または早送り中にインデックス/フォルダーボタンを押しても、そのメッセージ内にインデックスマークがない場合は、そのまま再生または早送りを続けます。
- 早戻し中にインデックス/フォルダーボタンを押しても、そのメッセージ内の直前にインデックスマークがない場合は、そのまま早戻しを続けます。

メッセージの移動 (MOVE) について

録音したメッセージを、もう一方のフォルダーへ移動することができます。
移動したメッセージは移動先のフォルダーの一番最後に加えられます。



- 1 インデックス/フォルダーボタンを押して移動したいメッセージが入っているフォルダーを選ぶ
- 2 メニュー/音量レバーを上または下に動かして移動したいメッセージ番号を選ぶ
- 3 メニュー/音量レバーを押す
- 4 メニュー/音量レバーを上動かして「MOVE」を選ぶ
移動したいメッセージが入っているフォルダーが左、移動先のフォルダーが右に表示されます。
- 5 メニュー/音量レバーを押す
矢印が点滅したあと「OK」が表示され、移動が完了します。
ディスプレイは移動先のフォルダーで「NEW」と表示されます。



その他の機能

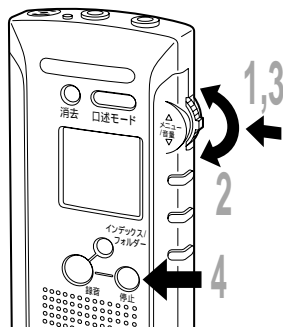
途中でメッセージの移動を中止するには

手順5で、メニュー/音量レバーを押す前に停止ボタンを押します。

ディスプレイは手順2の画面に戻ります。

アラーム (ALARM) について

お買い上げ時はアラーム音が出るように設定されていますが、出さないように設定することもできます。



- 1 メニュー/音量レバーを押す
- 2 メニュー/音量レバーを下に動かして「ALARM」を選ぶ
- 3 メニュー/音量レバーを押して「ON」が「OFF」を選ぶ
押すたびに、「ON」と「OFF」が切り替わり、「OFF」に設定するとアラーム音は出なくなります。
- 4 停止ボタンを押す
設定が完了します。

ALARM
OFF

アラームの種類

音のパターン	状況
ピーピーピー	・録音中にメモリ残量がゼロになった場合 ・最終のメッセージを再生し終わった場合
15 秒ごとにピー	録音中に録音可能時間が約 90 秒以下になった場合
ブツ	各メッセージの終わり、または先頭に達した場合
ピ	録音ボタンを押して、録音が正常に始まった場合
ピピピピッ	ディスプレイに「NEW」と表示されている状態での再生など、誤った操作をした場合

ご注意

イヤホンを使用している場合は、内蔵スピーカーからアラーム音は出ません。

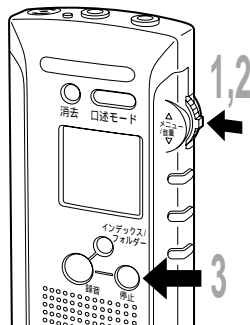
録音モード (R-TIME) について

本機での最長録音時間はSPモードで約5時間、LPモードで約10時間50分です*。お買い上げ時はSPモードに設定されています。

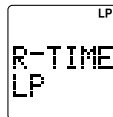
SPモードは、標準録音モードです。

LPモードは、長時間録音モードです。

* メッセージ数が多くなった場合、これより録音可能時間が短くなる場合があります。



- 1 メニュー/音量レバーを押す
- 2 メニュー/音量レバーを押して録音モードを選ぶ
押すたびに、「SP」と「LP」が切り替わります。
- 3 停止ボタンを押す
設定が完了します。



ご注意

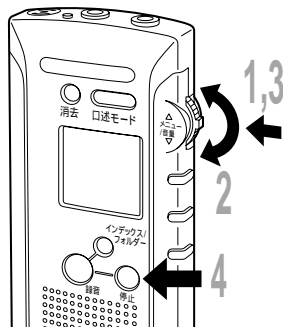
- 同じメッセージの途中で録音モードをかえることはできません。
- 録音モードを切り替えると、録音可能時間表示が変わります。
- 次のような場合はSPモードで録音してください。
より良い音質で録音したいとき
会議や講演会をより明瞭に録音したいとき
パソコンに転送して音声認識ソフト(別売)を使用するためのメッセージを録音するとき

マイク感度 (M-SENS) について

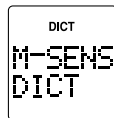
用途に合わせて内蔵マイクの感度を「CONF」と「DICT」に切り替えることができます。

「CONF」(会議録音用)は、幅広い用途に使うことができる高感度モードです。

「DICT」(口述録音用)は、口述録音に適した低感度モードです。



- 1 メニュー/音量レバーを押す
- 2 メニュー/音量レバーを下に動かして「M-SENS」を選ぶ
- 3 メニュー/音量レバーを押してマイク感度を選ぶ
押すたびに、「CONF」と「DICT」が切り替わります。
- 4 停止ボタンを押す
設定が完了します。



ご注意

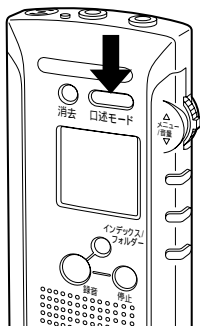
- マイクロホンジャックに別売のマイクロホンを接続した場合は、接続したマイクロホンの感度を切り替えることができます。
- マイク感度をDICTモードに設定した場合は、ごく近くの音しか録音されません。本機の内蔵マイクロホンと話し手の口を近づけて(5～10cm)録音してください。

会議や講演会などの録音について

- 会議や講演会などを録音する場合は、マイク感度をCONF(会議録音用)モードに設定してください。
- 会議や講演会などでは、話し手の声や周囲の音響状態によりクリアに録音できない場合があります。できるだけSP(標準録音)モードで録音することをおすすめします。(録音モードについて...P.27)
- 状況により別売のエレクトレットコンデンサマイクロホンME7(望遠マイクロホン)のご使用をおすすめします。(アクセサリ...P.36)

口述モードについて

口述モードボタンを押すだけで口述録音や、パソコンへ転送して音声認識ソフト(別売)で使用するための録音をするのに適した設定にできます。このボタンを押したとき、本機の設定は下記ようになります。



口述モードの設定内容

録音モード設定 SP (標準録音) モード
マイク感度設定 DICT (口述録音用) モード
アラーム設定 アラーム OFF

口述モードから設定内容を変更したい場合はそれぞれの設定を変更してください。

録音モードの切り替えかた P.27 参照

マイク感度の切り替えかた P.28 参照

アラーム設定の切り替えかた ... P.26 参照

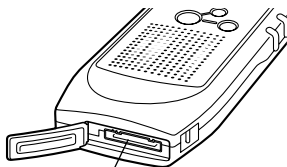
ご注意

- 本機の内蔵マイクロホンと話し手の口を近づけて(5~10cm)録音してください。
- 周囲の雑音の影響をより少なくしたい場合は、単一指向性マイクロホン ME12 (別売) のご使用をおすすめします。
- パソコンに転送して音声認識ソフト(別売)により文字に変換するためのメッセージを録音する場合は、「音声認識で使うためのメッセージの録音について」(P.30)をご覧ください。

パソコンへのデータ転送について

本機はデータ転送用のコネクタを内蔵しています。

USB接続キットAS-200W(別売)を使用すると、本機で録音したメッセージを音声データとしてパソコンへ転送することができます。



データ転送用
コネクタ

音声認識に使うためのメッセージについて

パソコンへ転送して、音声認識ソフト(別売)により文字に変換する場合は、次のようにメッセージを録音してください。

- 口述モードにする(口述モードについて... P.29)
- 音声起動録音(VCVA)をOFFに設定する。(音声起動録音について...P.23)
- 音声認識ソフトに声を登録した1人の話し手が録音する。
- 比較的静かな環境で録音する。
- 本機の内蔵マイクロホンに話し手の口を近づけて(5 ~ 10cm)録音する。
- 一定した話しかたで録音する。

ご注意

下記のようなものを録音したメッセージは、文字変換には不向きで認識率が著しく低く、音声認識にはお使いいただけません。

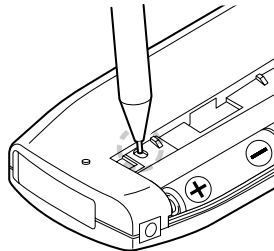
- 複数の人の声が録音される、会議や座談会など。
- まわりの雑音も録音されやすい、講演会や講義など。

リセットについて

音声データの使いかた

パソコンに転送された音声データは、次のように使うことができます。

- ① パソコンで音声データを再生する*1
- ② 音声データを電子メールに添付して声のメールとして送る*2
- ③ 音声データを文字に変換する*3



-
- * 1 USB接続キットAS-200W(別売)に含まれるソフトウェア(DSS Player)が必要です。詳しくは、USB接続キットAS-200Wの取扱説明書をご覧ください。
 - * 2 USB接続キットには電子メールソフトは含まれていません。また、受け取った音声データをパソコンで再生するためには再生専用ソフトが必要です。DSS Player(USB接続キットに含まれる)をお持ちでない場合は、再生専用ソフト(DSS Player-Lite for Windows 95/98)を弊社のホームページからダウンロードしてパソコンにインストールする必要があります。
 - * 3 IBM社の音声認識ソフト「ViaVoice ミレニアム」(別売)またはジャストシステム社の「Voice 一太郎 10 e-talk」(別売)が必要です。パソコンの動作環境など、詳しくは、USB接続キットおよびIBM社ViaVoiceまたはジャストシステム社Voice一太郎の取扱説明書をご覧ください。

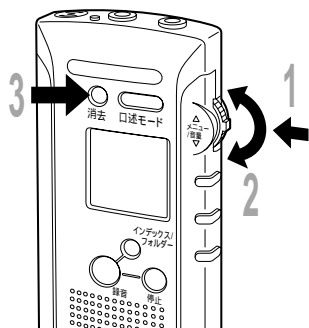
万一、操作中にディスプレイや動作に異常が発生した場合には、電池が入った状態で電池室内にあるリセットボタンをボールペンなどの先端で軽く押してください。

ご注意

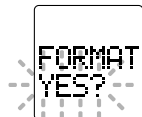
- ・針など、先のとがったもので押さないでください。
- ・リセットボタンを押すと、時計が遅れる場合があります。正しい時刻を確認して再度設定してください。
- ・リセットしても録音済みの音声データは消去されません。

フォーマット（初期化）について

本機に内蔵したフラッシュメモリをお買い上げ時の状態に戻したい場合には、下記の手順にしたがってフォーマットをしてください。



- 1 メニュー/音量レバーを押す
- 2 メニュー/音量レバーを上動かして「FORMAT」を選ぶ
「YES?」が点滅します。
- 3 消去ボタンを1秒以上押す
「FORMAT」が点滅したあと「OK」と表示され、初期化が完了します。



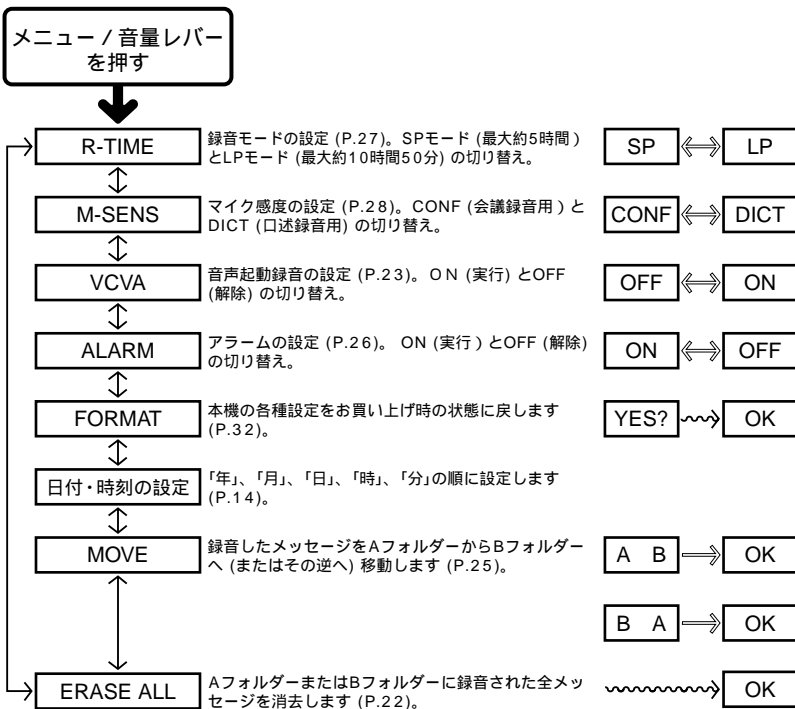
フォーマットを中止するには

手順 2 で、「YES?」と点滅中に停止ボタンを押します。ディスプレイは手順1でメニュー/音量レバーを押す前の画面に戻ります。

⚠注意

フォーマットを行うとフラッシュメモリに記録されているすべての録音済みメッセージが消去され、時刻など各種設定の多くが初期状態に戻ります。
各種設定も含めてすべてお買い上げ時の状態に戻したい場合は、フォーマットをした後でリセット(P.31)をしてください。

メニューの一覧



ご注意

- メニューの設定は本機を停止状態にしてから行ってください。
- メニューの設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。

↔ : メニュー / 音量レバー
を上下に動かす

⇒ : メニュー / 音量レバー
を押す

~~~~~> : 消去ボタンを押す

# 故障かな？と思ったら

- Q-1. ディスプレイに何も表示されない。
- A-1. 電池は正しく入っていますか？  
電池が消耗していませんか？  
ホールドスイッチがホールド側になっていませんか？  
スタンバイモードになっていませんか？
- Q-2. 操作を受け付けない。
- A-2. ホールドスイッチがホールド側になっていませんか？  
電池が消耗していませんか？  
電池ぶたが開いていませんか？
- Q-3. 録音できない。
- A-3. 録音可能時間がゼロになっていませんか？
- Q-4. 録音表示ランプが点灯しない。
- A-4. 録音可能時間がゼロになっていませんか？  
ホールドスイッチがホールド側になっていませんか？
- Q-5. 録音中アラーム音が出る。
- A-5. 録音可能時間が少なくなっていますか？  
録音可能時間がゼロになっていませんか？
- Q-6. 再生しても音が聞こえない、音が小さい。
- A-6. メニュー / 音量レバーの操作で適切な音量に調節してありますか？
- Q-7. インデックスが記録されない。
- A-7. 既に 16 個のインデックスを記録していませんか？
- Q-8. 時計がリセットされてしまった。
- A-8. フォーマット（初期化）操作をしましませんでしたか？
- Q-9. 時計の時刻がずれてしまった。
- A-9. 電池の交換にかなり時間がかかりませんでしたか？
- Q-10. AC アダプタで動作しない。
- A-10. 本機専用の AC アダプタ A324 を使用していますか？
- Q-11. ディスプレイに「ERROR」が表示される。
- A-11. フォーマット（初期化）中に電池ぶたを開けたり、AC アダプタを抜き差ししませんでしたか？  
このような場合は、もう一度フォーマットを行ってください。（P.32）
- Q-12. メッセージの移動ができない。
- A-12. 移動先のフォルダーに 99 個のメッセージが録音されていませんか？
- Q-13. 録音中に停止ボタンを押してもディスプレイに「NEW」と表示されない。
- A-13. 99 個目のメッセージを録音中ではありませんか？

# 主な仕様

|              |                                                       |
|--------------|-------------------------------------------------------|
| 記録形式         | IVAのデジタルスピーチスタンダードによるデジタル記録                           |
| 記録媒体         | フラッシュメモリ内蔵                                            |
| 規定入力レベル      | - 70dBv                                               |
| 総合周波数特性      | SPモード：300～5,000Hz<br>LPモード：300～3,000Hz                |
| 録音時間         | SPモード：約5時間<br>LPモード：約10時間50分<br>(いずれも1メッセージ連続録音時)     |
| スピーカ         | 28丸型ダイナミック<br>スピーカ内蔵                                  |
| マイクジャック      | 3.5小型ジャック、<br>インピーダンス2k                               |
| イヤホンジャック     | 3.5小型ジャック、<br>インピーダンス8                                |
| 実用最大出力(DC3V) | 100mW以上<br>(スピーカ8)                                    |
| 電源           | 定格電圧：DC3V<br>電池：単4電池2本<br>(LR03またはR03)<br>外部電源：ACアダプタ |
| 電池持続時間(録音)   | 約11時間(アルカリ乾電池使用時で当社試験法による)                            |

|      |                                                                            |
|------|----------------------------------------------------------------------------|
| 外形寸法 | 116mm(長さ)×43mm(幅)×14.5mm(厚み)<br>(最大突起部含まず)                                 |
| 質量   | 74g(電池含む)                                                                  |
| 同梱品  | 本体<br>単4アルカリ乾電池(2本)<br>イヤホン<br>ストラップ<br>取扱説明書(保証書付き)<br>基本的な使いかた<br>愛用者カード |

- \* 本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。
- \* 電池寿命は使用電池・使用条件により大きく変わります。

## アクセサリ（別売）

USB 接続キット：AS-200W

本機で録音した音声データ（メッセージ）をパソコンに転送する場合に使用します。

USB アダプタ、USB ケーブル、DSS Player (Windows98/2000 対応ソフトウェア、CD-ROM 版) などが含まれます。

パソコンの動作環境

OS: Microsoft Windows98/  
Windows2000

対応パソコン: IBM PC/AT 互換機

CPU: Intel Pentium 133MHz  
以上のプロセッサ

RAM 容量: 32MB 以上

ハードディスク空き容量: 5MB 以上（その他に音声  
データ用の空き容量が必要）

サウンドカード: Creative Labs Sound  
Blaster 16  
または 100% 互換サウン  
ドカード  
マイク入力端子付き

ディスプレイ: 800 × 600 ドット以上、  
256 色以上

CD-ROM ドライブ: 2 倍速以上

USB ポート  
スピーカー

シリアルケーブル：AS-KP3

USB 接続キット：AS-200W といっしょにご使用  
になると、シリアルポートを備えたパソコンに、本  
機で録音した音声データを転送することができます。

エレクトレットコンデンサーマイクロホ  
ン：ME7\*

高感度狭指向性マイクロホン（望遠マイクロホン）  
です。本機から距離が離れている話し手の声を録  
音する場合に使用します。

エレクトレットコンデンサーマイクロホ  
ン：ME11\*

タイピン型の無指向性マイクロホンです。付属の  
クリップを使ってマイクロホンをご自身の洋服の  
えりなどに付けることができます。ご自身の声や  
近くの人々の声を録音する場合に使用します。

単一指向性マイクロホン：ME12

周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声をクリ  
アに録音したい場合に使用します。

AC アダプタ：A324

国内専用の AC アダプタです。

テレホンピックアップ：TP6

電話中の会話を録音する場合に使用します。\*

コネクティングコード：KA232\*

ラジオなどのイヤホンジャック（モノラルタイプ）  
と本機のマイクロホンジャックを接続して、ラジ  
オの音声を録音する場合に使用します。

プラグアダプタ：PA3

ミニミニプラグ（2.5）をミニプラグ（3.5）用  
のジャックに接続するためのプラグアダプタです。  
ミニミニプラグを備えたマイクロホンなどを、本機  
のマイクロホンジャックに接続する場合に必要です。

\* これらのアクセサリは、プラグアダプタ PA3 といっしょにご使用ください。

\*\* 携帯電話の会話の録音にはお使いいただけません。

IBM、PC/AT、ViaVoice は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

36 Voice 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

## <アフターサービスについて>

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。

製品に関するお問い合わせは

オリンパスカスタマーサポートセンター

Tel : 0426 (42) 7499

Fax : 0426 (42) 7486

〒192-0032 東京都八王子市石川町 2951

下記のアクセスポイントにお電話いただきますと、オリンパスカスタマーサポートセンターに転送されます。アクセスポイントまでの電話料金はお客様のご負担となります。

[アクセスポイント]

札幌 : 011-231-2338

仙台 : 022-218-8437

名古屋 : 052-201-9585

大阪 : 06-6252-0506

広島 : 082-222-0808

福岡 : 092-724-8215

サポート時間 AM10:00-PM5:00

(ただし、土、日、弊社定休日を除きます。)

オリンパスホームページ

<http://www.olympus.co.jp> でデジタルボイスレコーダー(ボイストレック)および関連製品の技術情報を提供しております。

デジタルオリンパスサイト

<http://www.digital-olympus.com> でデジタルボイスレコーダー(ボイストレック)および関連製品の製品情報を提供しております。

製品の修理に関してはお買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間を目安に保有しております。従いまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能な場合もあります。

なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。

## <保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
  2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は当社サービスステーションに依頼して下さい。
  3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、別紙の最寄りのサービスステーションにお問い合わせ下さい。
  4. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
  5. 本製品の故障に起因する付随的損害(録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等)については保証致しかねます。
  6. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
    - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
    - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
  - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
  - ニ. 本書のご提示がない場合。
  - ホ. 本書にお買い上げ年月日・シリアルNo. お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
7. 保証の対象は本体のみです。

## <保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。

( THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN )

販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

## <保証責任者・保証履行者>

オリンパス光学工業株式会社

〒 163-8610 東京都新宿区西新宿 1-22-2 新宿サンエービル

## 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

|         |          |        |         |
|---------|----------|--------|---------|
|         | 無料修理保証期間 | 部 品 代  | 修 理 工 料 |
| 本 体     | 1 年      | 無 料    |         |
| 品 名     | ボイストレック  | 型 名    | DS-650  |
| ボディ No. |          | お買い上げ日 | 年 月 日   |
| お 客 様   | 住所 〒     | 無 効    |         |
|         | TEL      |        |         |
|         | 氏名       | 様      |         |
| 販 売 店 名 |          |        |         |